

## ユリ科ミノコバイモのレクトタイプ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-22 キーワード: 作成者: 鳴橋, 直弘, Naruhashi, Naohiro メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00053293">https://doi.org/10.24517/00053293</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 鳴橋直弘：ユリ科ミノコバイモのレクトタイプ

Naohiro Naruhashi: Lectotype of *Fritillaria japonica* (Liliaceae)

ユリ科バイモ属ミノコバイモ *Fritillaria japonica* Miq. は、ミッケルが日本の書物の図を基に記載した植物である (Miquel 1867)。この植物の和名はコバイモやテンガイユリと言われていたが、1937年に2種が新たに記載された後混乱したために、大井博士よりコバイモをこの群の総称名としようという提案があった (大井 1966)。現在はこの種にミノコバイモという和名が使用されている。文献を除く以下の文章で、コバイモとされていたものはここではミノコバイモと書き代えている。

ミッケルの記載文の中に “ad iconem libri iaponici determinavit” と書かれている。原・金井両博士はオランダのライデンにミノコバイモの標本がないと書いている (原・金井 1957)。続けて、日本の書物とは、飯沼慾齋 1856－1862の草木図説であり、さらに飯沼慾齋の標本は国立科学博物館に所蔵されており、その標本中にミノコバイモの標本が1点あり、そのラベルの記載は飯沼慾齋の本の中の記載と附合しているとしている。その結果、彼らの結論として、ミノコバイモは飯沼慾齋の草木図説の図に基づいて記載された。また、この図の元になった標本は国立科学博物館にある1点の飯沼慾齋採集の標本である。故に、この標本がレクトタイプである (標本のラベルの上部にTypeの印判が押されている、図1参照) とした。彼らは1957年に植物研究雑誌で、この標本をレクトタイプに指定している (原・金井 1957; 金井弘夫 1984)。山崎 敬博士も国立科学博物館の飯沼慾齋のコバイモの標本は、ミノコバイモの新種発表の基準となる重要な標本であるとしている (山崎 1984)。イギリス人ヒルも日本のコバイモを総括し、原・金井の考えを踏襲し、この標本をレクトタイプと考えている (Hill 2011)。

国際藻類・菌類・植物命名規約 (メルボルン規約) (大橋他 2014) の第二章 第2節タイプ指定では、“1753年5月1日以降に発表された学名は、その時の発表の文脈に基づいて選ばれた要素がタイプ指定されなければならない” (第7条 8項) とあり、また、第8条では、“タイプは標本または図解である” となっている。第40条4項には“学名のタイプは、2007年1月1日より前の場合は1つの図解であってもよい” とある。以上の命名規約から、記載文のなかには標本の引用はなく、図がある文献の引用があり、明らかにこの本の中の図がタイプと解釈される。原・金井の採用した国立科学博物館の標本は間接的要素であり、第9条3項の原資料とは考えられない。

日本の江戸時代の文献で、ミノコバイモの図が登場するのは飯沼慾齋の草木図説のみである。原・金井 (1957) の指摘したように文献の直接引用はないが、筆者も飯沼慾齋の草木図説を基にミッケルが記載文を書いたと思っている。フランシェ・サバティエもそのように考えている (Franchet and Savatier 1877)。よって、ミノコバイモのタイプは原・金井 (1957) が指摘した標本ではなく、飯沼慾齋の草木図説の図であるとした方が妥当である。

最後にこの報文を書くに当たって飯



図1. レクトタイプとされた国立博物館所蔵の飯沼慾齋の標本。

Fig. 1. Iinuma's specimen designated as the lectotype by Hara and Kanai (1957).

沼慾齋の標本を見せていただいた国立科学博物館、文献でお世話になった瀬戸 剛氏とLaurence Hill氏、標本の撮影をしていただいた門田裕一氏、レクトタイプ指定で議論をしていただいた永益英敏氏とKanchi Gandhi氏、英文を校閲していただいたMadjit Hakki氏に、ここにお礼を申し上げます。

#### 引用文献

- Franchet, A. and L. Savatier (1877) *Enumeratio plantarum in Japonia sponte crescentium* vol. 2, p. 62. F. Savy, Parisiis.
- 原 寛・金井弘夫(1957)コバイモについて. 植物研究雑誌 **32**(6): 188-189.
- Hill, L. (2011) A taxonomic history of Japanese endemic *Fritillaria* (Liliaceae). *Kew Bull.* **66**: 227-240.
- 飯沼慾齋 (1856-1862) 草木図説 前篇 草部 卷五 八二図. 平林荘, 大垣.
- 金井弘夫 (1984) 慾齋のコバイモ標本. 飯沼慾齋生誕二百年記念誌編集委員会 (編) 飯沼慾齋. 図16 & ノート. 飯沼慾齋生誕二百年記念事業会, 岐阜.
- Miquel, F. A. G. (1867) *Fritillaria*. *Ann. Mus. Lugd.-Bat.* **3**: 157-158.
- 大橋広好・永益英敏・邑田 仁 (2014) 日本植物分類学会国際命名規約邦訳委員会 (訳・編) 国際藻類・菌類・植物命名規約 (メルボルン規約) pp. 1-233. 北隆館, 東京.
- 大井次郎 (1966) コバイモのことども～新産地と研究史～ 採集ニュース (27): 27.
- 山崎 敬 (1984) コバイモ. 飯沼慾齋生誕二百年記念誌編集委員会 (編) 飯沼慾齋. pp. 471-472. 飯沼慾齋生誕二百年記念事業会, 岐阜.

#### Summary

*Fritillaria japonica* Miq. was described as a new species by Miquel (1867) based on an illustration in a Japanese book. The book is regarded as Iinuma's *Sōmoku-dzusetsu* (Iinuma 1859-1862). There is only a specimen of *F. japonica* in Iinuma's collection deposited in National Museum of Nature and Science, Tokyo (TNS). Hara and Kanai (1987) designated the Iinuma's specimen as the lectotype of *F. japonica* (Fig. 1). However, there is no description of the specimen with the exception of the illustration book in Miquel's description. The author considers that the lectotype is not the specimen but the illustration of Iinuma's book which was supposed from the description of the new species by Miquel, because of Section 2 Typification, Articles 7.8, 8 and 40.4 in the International Code of Nomenclature for algae, fungi, and plants (Melbourne Code 2011).

*Fritillaria japonica* Miq., *Ann. Mus. Lugd.-Bat.* **3**: 158 (1867)

**Type:** Lectotype, withdrawn the specimen designated by Hara and Kanai (1987) and newly designated here: [icon] Iinuma, Y. (1856-1862), *Sōmoku-dzusetsu*, Zenpen, Sōbu, Kan 5, 82 Zu, Heirinso, Oogaki. [Yokusai Iinuma (1856-1862), *An Iconography of Plants indigenous to, cultivated in, or introduced into Japan*, Part 1, Herbaceous Plants, vol. 5, fig. 82, Heirinso, Oogaki]

(〒591-8022 大阪府堺市北区金岡町 1046-1 Kanaoka-cho 1046-1, Kita-ku, Sakai 591-8022, Japan)  
(Received January 23, 2015; accepted February 4, 2016)